

# 「社会的事象の見方・考え方を深める学習はどうあったらよいか」

## ～学びを生かす授業の工夫～

指定校 1 年次 長野市立昭和小学校 砂塚 雄太

### (1) 本校の新聞活用 (NIE) の現状

- ・本校では本年度初めてNIEの指定校となり、「NIEとは何か？」ということから始まった。教育課程研究協議会の授業校となっていたこともあり、社会科の研究グループと5学年を中心に、NIE研究を行うこととなった。
- ・実践を行った5年1組の本学級では4学年のときに信濃毎日新聞社の出張授業を受け新聞の作り方について学習を行っていた。5学年になってからは、国語の「新聞を読もう」の単元で、見出しや記事について学習し、新聞スクラップに取り組むことになった。新聞に対する興味・関心が高い児童もあり、自主学习としてその後も新聞スクラップに定期的に取り組む児童もいた。家庭ではあまり新聞を読むことがないという児童が多かったが、野球やサッカーなど、スポーツの大きな試合があった翌日には多くの児童が新聞を開いているようだった。
- ・新聞を使った学習をする際には、家庭から各自新聞を持ってきてもらったり、学校や担任の新聞を使ったりして学習を行うことにした。5年1組は35名の児童のうち、新聞を取っていない家庭が4軒あったが、数日分持ってくる児童も多く、学習する際に支障をきたすことは無かった。9月から11月までの3ヶ月間は5紙の新聞購読を行い、その間は朝から数人で新聞を読んでいる姿がたくさん見られるようになった。

### (2) 実践のねらい

- ・学びを『関心・意欲を生かす』『既習経験を生かす』『学びを生かす』の3つの姿でとらえ、新聞を活用することで、社会的事象の見方・考え方を深めることにつなげようと考えた。
- ・児童が自ら情報を集めたり発信したりすることで、「新聞」「テレビ」「インターネット」など、様々なメディアから情報を取捨選択するメディアリテラシーの力を高めたいと考えた。
- ・新聞記事を読むことで社会との繋がりを実感し、社会に関心を持った行動ができる力を育みたいと考えた。

### (3) 研究の概要

本学級での取り組み

- 4月 国語「新聞を読もう」で見出しや記事についてとりあげ、新聞スクラップを始める。自主学习として新聞記事の切り抜きを開始。**新聞を学ぶ・新聞で学ぶ**
- 7月 道徳「いじめについて考えよう」で大津市のいじめ関係の新聞記事をもとに、被害者・加害者・傍観者のそれぞれの立場からいじめについて考え、話し合う。**新聞で学ぶ**
- 9月 総合的な学習の時間「新聞に投稿しよう」・国語「豊かな日本にするために」の単元で『いっしょに読もう新聞コンクール』と『HAPPY NEWS 2012』に応募した。自分が興

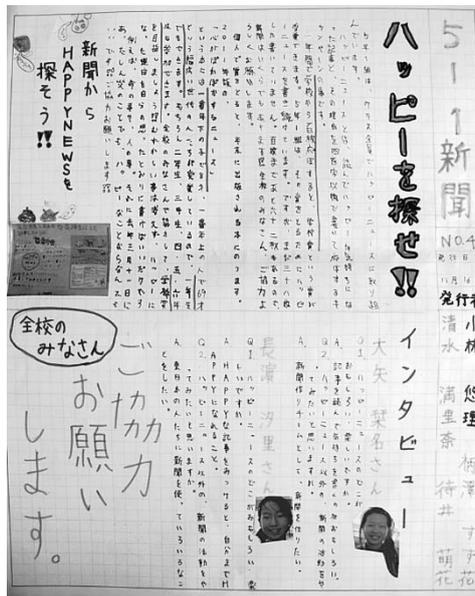
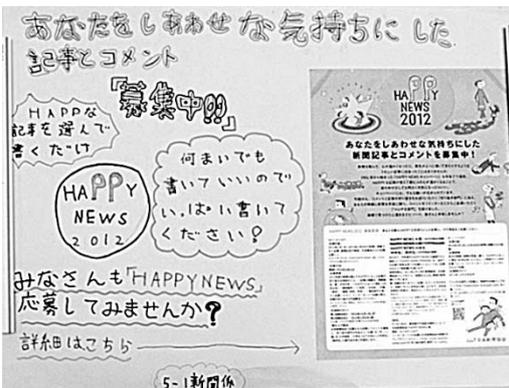
味のある記事を選び、それをもとに家族や友人と意見交換をし、考えを深めていった。特別賞を目指し、全校にも呼びかけをして応募者を集める活動をした。**新聞で学ぶ**



友達と一緒に読むと  
楽しさ倍増！



自分の考えをまとめるために、  
何度も記事を読み返す児童



自分達の活動を全校にも広げたいという思いで、ポスターと新聞を作成し「HAPPY NEWS」への応募を呼びかけた⇒応募数が増え特別賞を受賞

10月 総合「看板と新聞をつくろう」では3～5人のグループに分かれ、同じテーマでイルミネーション看板とスクラップ新聞を作った。また、その活動の様子などを取り上げて学級新聞作りにも取り組んだ。**新聞を作る**



- 11月 社会科「水産業」の単元で長野県水産試験場が開発した大イワナの量産技術について新聞記事を取り上げ、水産試験場で働く人々の工夫や努力について考えを話し合った。

### **新聞で学ぶ**

社会科「情報」の単元で、新聞の役割について他のメディアを比較しながら、「わたし達の生活における新聞の役割」について学ぶ授業を行った。**新聞を学ぶ**

## (実践授業)

- ① 単元名 「情報化した社会とわたしたちの生活」  
小単元 「情報産業とわたし達の暮らし」

② 単元設定の理由

(a) 児童観

水産業の学習では、長野県水産試験場で信州サーモンを開発した理由について、見学して見てきたことや聞いたことをもとに考えた。また、「大ヤマメの量産化にめど」という新聞記事を資料として、水産試験場が大ヤマメの量産技術を開発した理由についても考えた。大ヤマメの開発理由を考えるとときには、見学に行き聞いてきたことや信州サーモンの開発理由を考えたときのことを生かして考えた。更に、新聞記事を自分の予想と比較しながら読み取ることで、水産試験場の工夫や努力について考えを深めていた。

自主学習で新聞スクラップやハッピーニュースに取り組んでいる本学級の児童は、新聞を読むことや新しい知識を得ることに楽しんで取り組んでいる。

(b) 教材観

本単元では、テレビや新聞・インターネットなどの情報について学習をする。わたし達の普段の生活は多くの情報に囲まれている。しかし、それらの情報がわたし達の生活の中でどのような役割を果たしているのか、発信する側はどのようにして情報をわたし達に送っているのか考えることはしていない。本学級ではこれまでの新聞との関わりを生かし、新聞を中心としてメディアについて学習する。学級の9割以上の家庭では信濃毎日新聞を購読している。全国紙や日本経済新聞、長野市民新聞を併読している家庭もある。地方紙である信濃毎日新聞には地域のことが詳しく載っていたり知り合いの名前が載っていたりすることもあり、家庭や友達同士で記事を読み合い話題にしていることもある。過去のことで自分の興味がある情報を見つけ出したり、新聞記事から得た情報を切り取ってみんなで共有したりすることが可能で、児童の意識に沿った学習が期待できる。

(c) 指導観

新聞にはどのような情報が載っていて、社会に対してどのような役割を果たしているのかについて学習することで、情報を共有しながら世の中が繋がっていることに気づかせたい。そして、わたし達の生活には情報が欠かせないことや情報化社会が進むことは生活に影響しているということに気づき、テレビやインターネットなどメディアの特徴を生かし、情報の有効な活用が大切であると考えられるようにさせたい。また、今まで学習したことを生かして、見学・調査・資料活用や話し合いに取り組み、自分の見方・考え方を深める力を育みたいと願って本単元を設定した。

③指導計画「情報産業とわたし達の暮らし」（全10時間）

学習問題 ○学習活動	指導【評価】	時
<p>新聞は情報をどのように伝えているのだろうか。</p> <p>○新聞には情報がどのように載っているのか調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>情報の種類について調べる。</li> <li>字の大きさや写真や図表がどのように使われているか調べる。</li> </ul> <p>○新聞から得た情報をどう活用しているのか話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新聞にはどのようなページがあるのか個人で調べ、班でまとめる。</li> <li>1面や社会面に書かれている情報をどのようにして理解しているのか話し合う。</li> <li>自分や友達、家族が新聞のどのページを読み、何に活用しているのか調べさせる。</li> </ul>	<p>1</p> <p>2</p> <p>3</p>
<p>新聞はわたしたちの社会のなかでどのような役割を果たしているのでしょうか。</p> <p>○新聞社の仕事について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新聞の紙面から、どのような発信に力を入れているかを調べる。</li> <li>新聞を作る上で大切にしていることは何か話し合う。</li> </ul> <p>○様々なメディアの特徴について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新聞・テレビ・ラジオ・インターネット・雑誌の特徴について「はやさ」「使いやすさ」「詳しさ」「正確さ」「危なさ」の観点で話し合う。</li> </ul> <p>○新聞がなかったら困ることを考える。</p> <p><b>【本時】</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>信濃毎日新聞と全国紙を読み比べ違いを調べさせる。</li> <li>それぞれの新聞がどのような記事を大きく扱っているのか調べさせる。</li> <li>新聞がどのようにつくられているのか調べ、大切なことをまとめさせる。</li> <li>様々なメディアの特徴について考えさせる。</li> <li>もし、新聞がなくなったらどうなるか考え、話し合わせる。</li> </ul>	<p>4</p> <p>5</p> <p>6</p> <p>7</p>
<p>わたしたちはメディアをどのように活用していけばよいのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>情報を発信する側と受け取る側のそれぞれが気を付けることを考え、新聞にまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報化が進むことで便利になったことと、注意すべきことについてまとめさせる。</li> </ul>	<p>8</p> <p>9</p> <p>10</p>

④ 本時案

(a) 主眼

様々なメディアの特徴について学習した子ども達が、社会の中で新聞がどのような役割を果たしているのかを考える場面で、新聞の発行部数が減っている資料を見て、新聞がなくなったらどうなるかを話し合ったり一緒に新聞を読んだりするを通して、わたし達は新聞から得た情報を生かして生活をしているということに気づくことができる。

(b) 本時の位置（10時間中の第7時）

前時：テレビ・インターネット・ラジオ・新聞・雑誌といったメディアの特徴について学習した。

次時：情報を送る側と受け取る側で気を付けなければいけないことについて考える。

(c) 指導上の留意点

- ・新聞は家庭だけでなく会社や学校などでもとっていることを教える。
- ・同じ新聞を読むことで共通の話題ができ、新聞を通して人とのつながりがあることを実感させる。
- ・土日の新聞を班で一緒に読ませる。

(d) 展開

展開	学習活動	予想される児童の反応	指導・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">評価</span>	時間	資料
問題把握	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <b>【学習問題】</b>                      新聞はわたし達の生活でどのような役割を果たしているのだろうか。                 </div> 1. 学習問題を確認する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨日あったスポーツの結果を詳しく載せている。</li> <li>・色々な情報を伝えている。</li> <li>・大切なことを伝えている。</li> <li>・日本で起きていることをみんなに伝えて、判断の材料になっている。</li> <li>・地域のことを教えてくれている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞にはどのような情報が載っていたか振り返らせる</li> </ul>	5	
	2. 新聞の発行部数の変化のグラフを読み取る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2005年から毎年減っている。</li> <li>・2009年からは更に減っている。</li> <li>・1世帯あたりの部数は1997年から減り続けていて2008年には1部を下回っている。</li> <li>・このままだと新聞を読まない人がどんどん増えていきそう。</li> <li>・きっと地デジ化でテレビが便利になったからじゃないかな。</li> <li>・新聞じゃなくてもテレビやネットで情報が手に入るからじゃないかな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞離れの理由は何か考えさせる。</li> </ul>	7	
問題の追究	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <b>〈学習課題〉</b>                      もし新聞がなかったらどんなことが困るか考えてみよう。                 </div> 3. 新聞がないと困ることを話し合う	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもは普段新聞読んでなくても困らないけど、大人は困るでしょ。</li> <li>・お父さんは仕事に欠かせないって言ってたよ。</li> <li>・おくやみ欄がないと知り合いの人が</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「テレビやネットがあれば新聞はなくても困らないかな」</li> <li>・新聞をどのように活用していたか振り返らせる</li> </ul>	15	

		<p>亡くなくても分からなくて困る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツの結果はテレビでもやるけど、新聞ほど詳しくないから困る。</li> <li>・地域のことはテレビでやらないから、新聞がないと地域の情報が分からないね。</li> <li>・テレビはニュースよりバラエティーとかを見ちゃうから、大事な情報は見逃しちゃうかもしれないよ。</li> <li>・ネットには嘘の情報も多いから新聞から正しい情報を手に入れたい。</li> </ul>			学 習 カ ー ド
整 理	4. みんなで一緒に新聞を読む	<ul style="list-style-type: none"> <li>・えびす講の花火大会のことが載ってるよ。</li> <li>・川中島中学の陸上部のことが載ってる。</li> <li>・この人お姉ちゃんの友達だ。</li> <li>・銀行強盗が入って、まだ捕まっていないって。怖いね。</li> <li>・テレビではやらないことがたくさん載っているから面白いね。</li> <li>・選挙とか分からないけど記事がたくさん載ってるね。</li> </ul>	「新聞があるとなのか、みんなと一緒に読んでみよう」	10	
発 展	5. 新聞の役割についてまとめ、感想を書く	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞がなくても困らないかもしれないけど、地域の情報が入らないから話題についていけない。</li> <li>・新聞はなくても困らないけど、あると便利で楽しい。</li> <li>・忙しくてテレビを見られない人は新聞からたくさんの情報を得ている。</li> <li>・テレビで知ったニュースを新聞ですらに詳しく読むことができる。</li> <li>・テレビのニュースになっていないことも新聞には載っているし、地域の情報は新聞の方が詳しく載っているから、新聞も必要だと思った。</li> <li>・新聞から得た情報で、注意したり「おめでとう」って言ったりすることが出来るから、情報は僕たちの行動の元となっている。</li> </ul>	<p>「新聞があるのとないのとは生活がどのように変わるのでろうか」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・机間指導をしながら○をつけていく。</li> </ul>	8	新 聞
			<div style="border: 2px dashed black; padding: 5px;"> <p>新聞から得た情報は生活につながっていることに気づいているか。 (ノート・学習カード・発言)</p> </div>		

#### (4) 研究のまとめ

##### 本学級の児童の様子から

- ・野球やサッカーなどの大きな試合があった翌日は朝から友達と一緒に楽しそうに新聞を読んでいる姿が見られるようになった。
- ・家で新聞をとっていない子も教室にある新聞を楽しそうに読んでいる。
- ・毎朝教室に来たらすぐに新聞を開き、4コママンガをスクラップしていた。
- ・新聞を読むのが好きな児童が多く、意欲的に楽しみながら活動している。
- ・自主学习で切り抜きをする子も多く、記事を読んで自分の感想を書いている。



**新聞に親しむことで、学習への関心・意欲を高めるにつなげた。**

- ・新聞を何度も読んでいるうちに、新聞の構成(どのページにどのような記事が載っているのか)について気づき、読みたい記事をすぐに見つけられるようになった。
- ・HAPPY NEWS への取り組みを進んで行い、回数を重ねるごとに記事を選んだ理由を書くのがだんだん早くなってきた。
- ・水産試験場の大イワナに関する記事を取り上げて行った授業のときは、社会科見学で見てきたことや聞いたことをもとに、信州サーモンの開発と関連させながら発言をしたり自分の意見を書いたりしていた。



**既習を生かすことで、社会的事象の見方・考え方を深めたり自分の考えの根拠として捉えたりすることにつなげた。**

- ・最近のニュースや出来事について話をすると、「あっ、それ新聞に載ってた！」とか「それってこういうことなんですよ!？」と言ってくる子が増えた。

**共通の話題ができたことや社会との繋がりを実感できたことで、社会に対して関心を持つようになってきた。**



**新聞を活用することで、児童は興味・関心を持つ世界の範囲を広げ、社会の出来事に対して、自分なりの見方・考え方を深めていくようになった。**

## (5) 残された課題

- ・本年度は指定校 1 年次ということもあり、「新聞に親しむ」ことに重点をおいて活動を行ってきた。児童はあまり新聞に興味を示さないのではないかと考えていたが、実際には新聞を使った学習をすると喜んで取り組んでいる姿が見られた。ただし、「新聞を読んで何かをする」という活動になると、「どうしたら良いか分からない。」「記事を見つけることができない。」と、活動へのつまずきや抵抗感を感じさせる児童もいた。友達と一緒に新聞を読んで思ったことを言い合うのは楽しいが、読んだ感想や考えたことを話し合ったりまとめたりという活動になると楽しめない児童が出てきてしまった。せっかく新聞の面白さを感じていた児童に対して「学習活動」を行うことで抵抗感を与えてしまうことになってしまった。抵抗を感じさせる理由として「漢字が読めない」「言葉の意味が分からない」「記事を読むのが遅い」といったことが考えられる。新聞を良さを生かし、今後どのように教材化していけば良いのかを追究していく必要があると感じた。
- ・本年度は 9 月～11 月の 3 ヶ月間に新聞購読を行った。新聞は基本的に 5 年 1 組の教室に置いていたが、11 月の 1 ヶ月間は 5 学年の廊下にも置くようにした。廊下に置くと他のクラスの児童も新聞を開いて楽しそうにおしゃべりをしたり、「先生これ知ってる?」と新聞記事を見せながら話しかけてきたりするようになった。当たり前のことだが、児童は新聞があれば開いて読むが、なければ読まないし困ることもない。また、古い新聞を持ち出してまで読もうとはしないということも分かった。多くの児童が「手軽に」「今日の」新聞を読める環境を欲しているということではないだろうか。新聞を有効活用するためには、毎日手軽に新しい新聞を手にする事が出来る環境を整えておくことが大切だと感じた。
- ・HAPPY NEWS への取り組みは社会への興味・関心を持たせることができ、世の中の出来事を知る機会にもつながった。また、自分の考えを文章にまとめることで「漢字力」「語彙力」「読解力」「文章力」を着けるのに有効だと感じられた。これらの力をより効果的に高めるための取り組み方を追究していきたいと思った。



新聞を楽しみながら読んでいる児童の姿をこれからも大切にしていきたい